

米国ハイ・インカム BDCファンド (毎月決算型) 【運用報告書(全体版)】

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2013年11月29日から2023年11月13日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として、米国の取引所に上場している株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 米国ハイ・インカムBDCマザーファンド 米国の取引所に上場している株式等
当ファンドの運用方法	■主として、米国の取引所に上場している株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 ■マザーファンドの運用にあたっては、アドバイザー・リサーチ・インクに運用の指図に関する権限の一部を委託します。 ■実質外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 米国ハイ・インカムBDCマザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■毎月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

第17作成期（2021年11月13日から2022年5月12日まで）

第 97 期 / 第 98 期 / 第 99 期
決算日2021年12月13日 決算日2022年1月12日 決算日2022年2月14日

第 100 期 / 第 101 期 / 第 102 期
決算日2022年3月14日 決算日2022年4月12日 決算日2022年5月12日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主として、米国の取引所に上場している株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

米国ハイ・インカムBDCファンド（毎月決算型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			株 式 組 入 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	込 金 騰 落 中 率		
73期(2019年12月12日)	円	円	%	%	百万円
	7,165	50	1.7	94.8	2,702
74期(2020年1月14日)	7,321	50	2.9	93.9	2,664
75期(2020年2月12日)	7,341	50	1.0	94.1	2,696
76期(2020年3月12日)	5,676	50	△22.0	94.1	2,082
77期(2020年4月13日)	4,602	50	△18.0	93.5	1,677
78期(2020年5月12日)	4,746	50	4.2	93.6	1,723
79期(2020年6月12日)	5,038	50	7.2	95.3	1,897
80期(2020年7月13日)	4,865	50	△2.4	95.1	1,802
81期(2020年8月12日)	5,352	50	11.0	94.7	1,973
82期(2020年9月14日)	5,190	50	△2.1	94.8	1,883
83期(2020年10月12日)	5,218	50	1.5	94.8	1,888
84期(2020年11月12日)	5,447	50	5.3	95.6	1,969
85期(2020年12月14日)	5,743	50	6.4	91.8	1,956
86期(2021年1月12日)	5,749	50	1.0	96.0	1,927
87期(2021年2月12日)	6,072	50	6.5	96.2	2,016
88期(2021年3月12日)	6,710	50	11.3	95.4	2,030
89期(2021年4月12日)	7,052	50	5.8	95.5	2,075
90期(2021年5月12日)	6,849	50	△2.2	95.5	1,912
91期(2021年6月14日)	7,191	50	5.7	95.9	1,956
92期(2021年7月12日)	7,143	50	0.0	95.8	1,869
93期(2021年8月12日)	7,246	50	2.1	94.8	1,872
94期(2021年9月13日)	7,152	50	△0.6	95.9	1,772
95期(2021年10月12日)	7,446	50	4.8	96.0	1,788
96期(2021年11月12日)	7,645	50	3.3	96.7	1,715
97期(2021年12月13日)	7,406	50	△2.5	95.9	1,617
98期(2022年1月12日)	7,698	50	4.6	95.9	1,628
99期(2022年2月14日)	7,567	50	△1.1	95.6	1,579
100期(2022年3月14日)	7,577	50	0.8	95.3	1,573
101期(2022年4月12日)	8,305	50	10.3	95.4	1,694
102期(2022年5月12日)	7,906	50	△4.2	95.5	1,587

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

米国ハイ・インカムBDCファンド（毎月決算型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準	価額		株式組入率
			騰	落率	
第97期	(期首) 2021年11月12日	円		%	%
	11月末	7,645	—		96.7
		7,457	△ 2.5		96.8
第98期	(期末) 2021年12月13日	7,456	△ 2.5		95.9
	(期首) 2021年12月13日	7,406	—		95.9
	12月末	7,578	2.3		95.1
第99期	(期末) 2022年1月12日	7,748	4.6		95.9
	(期首) 2022年1月12日	7,698	—		95.9
	1月末	7,480	△ 2.8		96.1
第100期	(期末) 2022年2月14日	7,617	△ 1.1		95.6
	(期首) 2022年2月14日	7,567	—		95.6
	2月末	7,552	△ 0.2		95.8
第101期	(期末) 2022年3月14日	7,627	0.8		95.3
	(期首) 2022年3月14日	7,577	—		95.3
	3月末	8,186	8.0		94.4
第102期	(期末) 2022年4月12日	8,355	10.3		95.4
	(期首) 2022年4月12日	8,305	—		95.4
	4月末	8,303	△ 0.0		95.7
	(期末) 2022年5月12日	7,956	△ 4.2		95.5

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

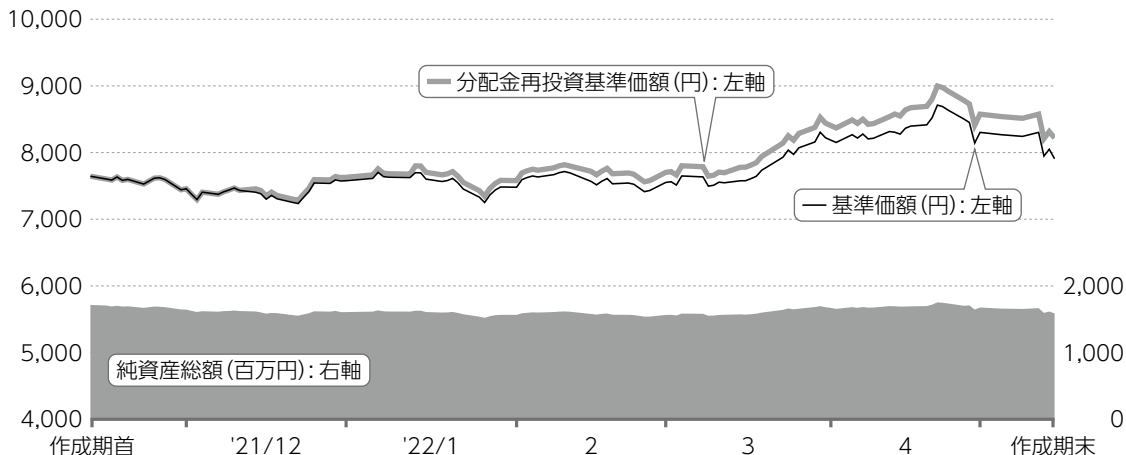
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2021年11月13日から2022年5月12日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	7,645円
作成期末	7,906円 (当作成期既払分配金300円(税引前))
騰落率	+7.5% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因（2021年11月13日から2022年5月12日まで）

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として、BDC（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）*に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

*BDCとは、中堅企業等（中小企業から上場企業まで）の事業開発を主に金融面からサポートする投資会社をいいます。

上昇要因

- 日米金利差拡大や地政学リスクの高まりなどを背景に、米ドルが円に対して上昇したこと

下落要因

- ウクライナ情勢や中国の景気減速懸念などを背景に世界的に株価が下落し、BDC市場も下落したこと

投資環境について（2021年11月13日から2022年5月12日まで）

BDC市場は、下落しました。為替市場では、米ドル高円安となりました。

BDC市場

期を通じて見ると、BDC市場は下落しました。

BDC市場は、期初より、高い感染力を持つ恐れがある新たな新型コロナ変異ウイルス（オミクロン型）を確認したとの発表を受けて世界的に株価が調整する中、下落して始まりました。その後、オミクロン型について、重症化や入院のリスクは低いとの研究結果が相次いで公表されたことなどを受け、感染は広がっているものの経済成長が脅かされる可能性は小さいとの見方が台頭する中、世界的に株式市場が反発し、BDC市場も一転して上昇する展開となりました。

しかし、ロシアのウクライナ侵攻により地政学リスクが高まり、世界的に株式市場が下落する中、BDC市場も売られました。その後、ロシアとウクライナの当局者が、両国間の停戦交渉が進展し数日以内に何らかの成果が出る可能性に言及したことなどを受け、BDC市場は反発する局面もありました。

期末にかけては、中国の北京市での感染拡大を受け、ロックダウン（都市封鎖）の更

なる拡大への警戒感から中国本土の株式市場が大幅安となりました。インフレ懸念を背景に欧米の長期金利が上昇し、世界的に株価が大幅に下落したこともあり、BDC市場は大きく下落しました。

為替市場

期末の米ドル／円は、期初と比較して米ドル高円安となりました。

期初から2月にかけて、もみ合いの展開で推移しました。3月以降、FRBの金融引き締め姿勢と、日本銀行の金融緩和姿勢維持との差を背景に日米金利差が拡大したことで、円安方向に大きく動きました。また、エネルギー価格上昇が経常収支の悪化につながるとの見方も、円安圧力となりました。

米国ハイ・インカムBDCファンド（毎月決算型）

ポートフォリオについて（2021年11月13日から2022年5月12日まで）

当ファンド

期を通じて、主要投資対象である「米国ハイ・インカムBDCマザーファンド」を高位に組み入れました。

米国ハイ・インカムBDCマザーファンド

11月に、ゴルフ・キャピタルを全売却し

た一方、10月に新規上場されたブラックストーン・セキュアード・レンディング・ファンドを新規に組み入れました。12月には、ニュー・マウンテン・ファイナンシャルを全売却しました。また、年明け後、大きく株価が下落したブラックストーン・セキュアード・レンディング・ファンドとサラトガ・インベストメントを買い増しました。

ベンチマークとの差異について（2021年11月13日から2022年5月12日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2021年11月13日から2022年5月12日まで）

期間の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
当期分配金	50	50	50	50	50	50
（対基準価額比率）	(0.67%)	(0.65%)	(0.66%)	(0.66%)	(0.60%)	(0.63%)
当期の収益	19	50	－	50	50	－
当期の収益以外	30	－	50	－	－	50
翌期繰越分配対象額	138	185	135	162	782	732

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、主要投資対象である「米国ハイ・インカムBDCマザーファンド」の組入れを高位に保ちます。

米国ハイ・インカムBDCマザーファンド

F R B（米連邦準備制度理事会）の利上げは初期段階であり、利上げによる消費や投資活動への影響やインフレ抑制効果について注視していく局面に入っています。また、ロシアへの経済制裁の世界経済への影響、中国の感染拡大による経済活動の停滞など、グローバル景気への懸念は払拭されていません。ただし、米国景気は雇用が回復途上

にあり、今後の消費活動や企業収益への支援材料になることが期待されます。

BDC市場でも、ロシア・ウクライナ情勢やF R Bの金融政策を巡る懸念等、足元の投資環境における様々な不確実性から影響を受けることが見込まれます。一方、企業活動に伴う米国企業の収益拡大期待、米金利上昇に伴うBDCの収益改善期待等はBDC市場の支援材料となると見えています。

運用方針に変更はなく、引き続き独自のローン組成プラットフォームを有するBDCや、ニッチな分野において良質の案件を発掘する能力を有するBDC、主に担保付シニア案件に投融資するBDC等に焦点を当てて運用を行っていきます。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

米国ハイ・インカムBDCファンド（毎月決算型）

1万口当たりの費用明細（2021年11月13日から2022年5月12日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	78円	1.007%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 期中の平均基準価額は7,750円です。
（投信会社）	(46)	(0.599)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(30)	(0.381)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.027)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.055	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(4)	(0.055)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(0)	(0.000)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.015	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.012)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	84	1.078	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

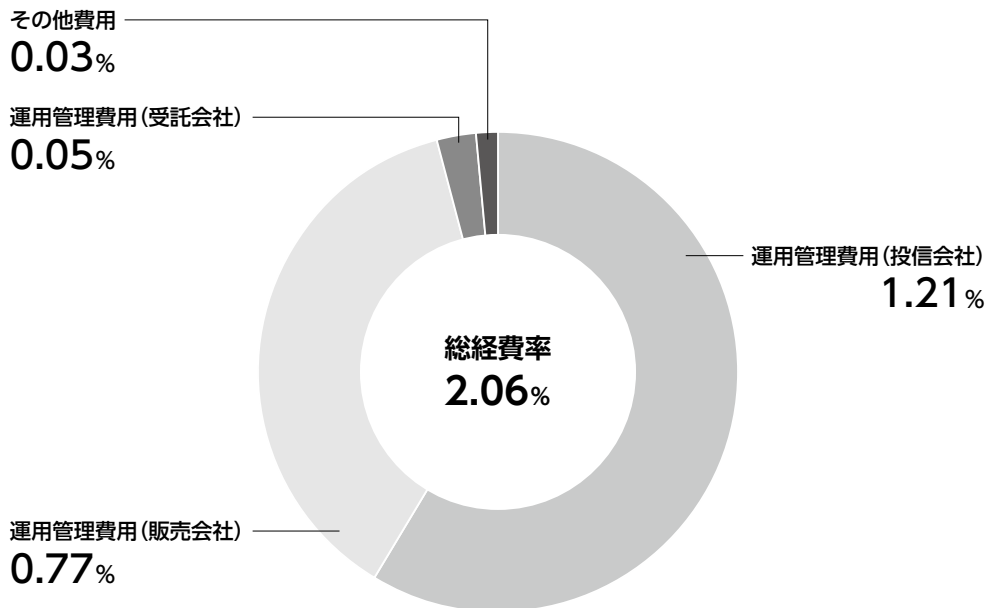
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は2.06%です。

米国ハイ・インカムBDCファンド（毎月決算型）

■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2021年11月13日から2022年5月12日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
米国ハイ・インカムBDCマザーファンド	千口 16,464	千円 33,828	千口 150,299	千円 292,801

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2021年11月13日から2022年5月12日まで）

項 目	当 作 成 期
	米国ハイ・インカムBDCマザーファンド
(a) 作成期中の株式売買金額	633,357千円
(b) 作成期中の平均組入株式時価総額	1,817,629千円
(c) 売 買 高 比 率(a)/(b)	0.34

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等（2021年11月13日から2022年5月12日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

（2021年11月13日から2022年5月12日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細（2022年5月12日現在）

親投資信託残高

種 類	作 成 期 首	作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
米国ハイ・インカムBDCマザーファンド	千口 901,109	千口 767,274	千円 1,570,610

※米国ハイ・インカムBDCマザーファンドの作成期末の受益権総口数は900,059,114口です。

米国ハイ・インカムBDCファンド（毎月決算型）

■ 投資信託財産の構成

（2022年5月12日現在）

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
米国ハイ・インカムBDCマザーファンド	千円 1,570,610	% 98.1
コール・ローン等、その他	29,632	1.9
投資信託財産総額	1,600,242	100.0

※米国ハイ・インカムBDCマザーファンドにおいて、作成期末における外貨建資産（1,822,784千円）の投資信託財産総額（1,857,462千円）に対する比率は98.1%です。

※外貨建資産は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=129.77円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2021年12月13日）（2022年1月12日）（2022年2月14日）（2022年3月14日）（2022年4月12日）（2022年5月12日）

項 目	第 97 期 末	第 98 期 末	第 99 期 末	第 100 期 末	第 101 期 末	第 102 期 末
(A) 資 産	1,634,717,532円	1,646,369,089円	1,600,374,295円	1,586,274,166円	1,707,708,416円	1,600,242,440円
コール・ローン等	16,606,472	16,048,294	18,103,204	14,662,867	24,989,994	17,380,343
米国ハイ・インカムBDCマザーファンド(評価額)	1,601,354,877	1,612,052,246	1,563,587,850	1,557,960,633	1,677,679,310	1,570,610,025
未 収 入 金	16,756,183	18,268,549	18,683,241	13,650,666	5,039,112	12,252,072
(B) 負 債	17,404,110	18,119,997	20,697,233	12,869,813	12,888,134	12,867,367
未 払 収 益 分 配 金	10,918,485	10,575,119	10,438,547	10,382,431	10,203,928	10,039,185
未 払 解 約 金	3,602,384	4,851,634	7,319,844	34,010	12,471	1,575
未 払 信 託 報 酬	2,873,215	2,684,108	2,928,929	2,445,119	2,662,820	2,817,134
その他未払費用	10,026	9,136	9,913	8,253	8,915	9,473
(C) 純資産総額(A-B)	1,617,313,422	1,628,249,092	1,579,677,062	1,573,404,353	1,694,820,282	1,587,375,073
元 本	2,183,697,100	2,115,023,805	2,087,709,579	2,076,486,326	2,040,785,793	2,007,837,098
次 期 繰 越 損 益 金	△ 566,383,678	△ 486,774,713	△ 508,032,517	△ 503,081,973	△ 345,965,511	△ 420,462,025
(D) 受 益 権 総 口 数	2,183,697,100口	2,115,023,805口	2,087,709,579口	2,076,486,326口	2,040,785,793口	2,007,837,098口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,406円	7,698円	7,567円	7,577円	8,305円	7,906円

※当作成期における作成期首元本額2,243,430,036円、作成期中追加設定元本額76,668,227円、作成期中一部解約元本額312,261,165円です。
 ※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

米国ハイ・インカムBDCファンド（毎月決算型）

■ 損益の状況

〔自2021年11月13日〕
〔至2021年12月13日〕
〔自2021年12月14日〕
〔至2022年1月12日〕
〔自2022年1月13日〕
〔至2022年2月14日〕
〔自2022年2月15日〕
〔至2022年3月14日〕
〔自2022年3月15日〕
〔至2022年4月12日〕
〔自2022年4月13日〕
〔至2022年5月12日〕

項 目	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期	第 101 期	第 102 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 816円	△ 684円	△ 848円	△ 383円	△ 185円	△ 389円
受 取 利 息	59	41	39	11	19	2
支 払 利 息	△ 875	△ 725	△ 887	△ 394	△ 204	△ 391
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 38,388,460	75,120,345	△ 14,122,987	15,083,481	160,244,079	△ 67,614,563
売 買 益	965,445	76,046,009	535,499	15,304,591	162,750,940	737,892
売 買 損	△ 39,353,905	△ 925,664	△ 14,658,486	△ 221,110	△ 2,506,861	△ 68,352,455
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,883,007	△ 2,693,102	△ 2,938,704	△ 2,453,246	△ 2,671,654	△ 2,826,517
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 41,272,283	72,426,559	△ 17,062,539	12,629,852	157,572,240	△ 70,441,469
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,264,506	△ 48,934,297	12,712,927	△ 14,647,673	△ 12,069,864	131,560,133
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 515,457,416	△ 499,691,856	△ 493,244,358	△ 490,681,721	△ 481,263,959	△ 471,541,504
(配当等相当額)	(25,689,619)	(24,918,621)	(24,760,759)	(24,643,853)	(24,352,941)	(25,615,207)
(売買損益相当額)	(△541,147,035)	(△524,610,477)	(△518,005,117)	(△515,325,574)	(△505,616,900)	(△497,156,711)
(G) 合 計 (D + E + F)	△ 555,465,193	△ 476,199,594	△ 497,593,970	△ 492,699,542	△ 335,761,583	△ 410,422,840
(H) 収 益 分 配 金	△ 10,918,485	△ 10,575,119	△ 10,438,547	△ 10,382,431	△ 10,203,928	△ 10,039,185
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△ 566,383,678	△ 486,774,713	△ 508,032,517	△ 503,081,973	△ 345,965,511	△ 420,462,025
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 515,457,416	△ 499,691,856	△ 493,244,358	△ 490,681,721	△ 481,263,959	△ 471,541,504
(配当等相当額)	(25,691,275)	(25,042,978)	(24,762,276)	(24,692,088)	(24,456,175)	(25,615,485)
(売買損益相当額)	(△541,148,691)	(△524,734,834)	(△518,006,634)	(△515,373,809)	(△505,720,134)	(△497,156,989)
分 配 準 備 積 立 金	4,603,558	14,228,588	3,565,092	9,033,388	135,298,448	121,520,948
繰 越 損 益 金	△ 55,529,820	△ 1,311,445	△ 18,353,251	△ 21,433,640	—	△ 70,441,469

※有価証券売却損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投資の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投資には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託報酬の中から支弁している額は5,188,859円です。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期	第 101 期	第 102 期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,204,609円	20,380,216円	0円	15,884,595円	20,661,027円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	116,048,643	0
(c) 収益調整金	25,691,275	25,042,978	24,762,276	24,692,088	24,456,175	25,615,485
(d) 分配準備積立金	11,317,434	4,423,491	14,003,639	3,531,224	8,792,706	131,560,133
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	41,213,318	49,846,685	38,765,915	44,107,907	169,958,551	157,175,618
1万口当たり当期分配対象額	188.73	235.68	185.69	212.42	832.81	782.81
(f) 分配金	10,918,485	10,575,119	10,438,547	10,382,431	10,203,928	10,039,185
1万口当たり分配金	50	50	50	50	50	50

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
		50円	50円	50円	50円	50円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

米国ハイ・インカムBDCマザーファンド

第8期（2020年11月13日から2021年11月12日まで）

信託期間	無期限（設定日：2013年11月29日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、米国の取引所に上場している株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 ・主にBDC（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）*への投資を通じて高い配当利回りを獲得しつつ、中長期的なトータル・リターンを最大化を目指します。 　*中堅企業等（中小企業から上場企業まで）の事業開発を主に金融面からサポートする投資会社をいいます。 ・外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		株 式 組 入 率	純 資 産 額
		期 騰	落 中 率		
	円		%	%	百万円
4期（2017年11月13日）	12,612		9.4	96.6	11,872
5期（2018年11月12日）	13,022		3.3	96.9	5,779
6期（2019年11月12日）	13,730		5.4	94.9	4,167
7期（2020年11月12日）	11,979	△	12.8	96.4	2,711
8期（2021年11月12日）	18,841		57.3	97.7	1,967

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 式 組 入 率
		騰 落 率		
(期 首) 2020年11月12日	円		%	%
	11,979	—		96.4
11月末	12,748	6.4		95.9
12月末	12,629	5.4		95.4
2021年1月末	13,089	9.3		96.9
2月末	14,279	19.2		96.8
3月末	15,812	32.0		95.6
4月末	16,458	37.4		96.9
5月末	16,614	38.7		96.2
6月末	16,695	39.4		95.8
7月末	16,857	40.7		97.3
8月末	17,291	44.3		97.0
9月末	17,690	47.7		95.8
10月末	18,639	55.6		97.3
(期 末) 2021年11月12日	18,841	57.3		97.7

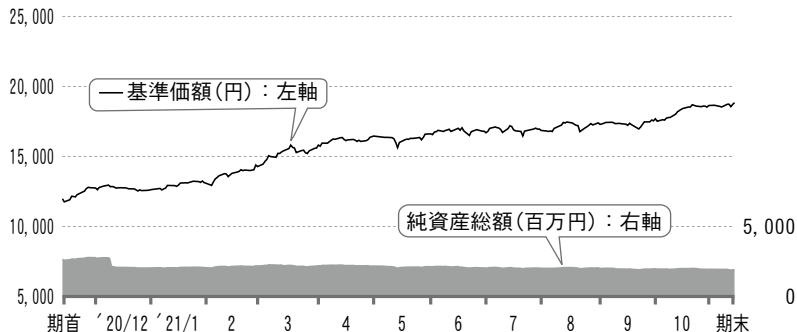
※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2020年11月13日から2021年11月12日まで）

基準価額等の推移



期首	11,979円
期末	18,841円
騰落率	+57.3%

▶ 基準価額の主な変動要因（2020年11月13日から2021年11月12日まで）

当ファンドは、主として、BDC（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）※に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

※BDCとは、中堅企業等（中小企業から上場企業まで）の事業開発を主に金融面からサポートする投資会社をいいます。

上昇要因

- ・世界的な経済活動の再開に伴う米景気回復期待やBDCの好調な決算発表等により、BDC市場が上昇したこと
- ・米国の景気回復期待や量的緩和の縮小観測等を背景に、米ドル高・円安となったこと

▶ 投資環境について（2020年11月13日から2021年11月12日まで）

期間中のBDC市場は上昇しました。為替市場では米ドル高・円安となりました。

BDC市場

期初、米大統領選挙の決着や新型コロナウイルスワクチンの開発に関するニュース等が好材料となり、BDC市場は上昇しました。2021年1月下旬には、一部の個人投資家の投機的行動による米国株式市場の混乱が相場の重石となる局面がありました。しかし、概ね好調なBDCの決算内容や米金利上昇によるBDCの収益改善期待、ワクチン接種の進展に伴う行動規制の緩和による景気回復期待の高まり等が好材料となり、BDC市場は上昇基調で推移しました。

期央、脆弱な米経済指標の発表やインフレ懸念、量的緩和の段階的縮小に対する警戒感等により上値の重い推移となりました。9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）では政策金利予想の引上げや量的緩和の段階的縮小開始の示唆から、米金利は上昇しました。ただし、金融政策面の材料はBDCを含む金融セクターの好材料となり、BDC市場は上昇しました。

その後、11月のFOMCで量的緩和の段階的縮小の開始が決定されました。しかし、概ね好調なBDCの良好な決算内容や米国経済指標の発表、連邦債務上限の暫定延長の法案が提出されたことなどが好材料となり、BDC市場は続伸しました。

為替市場

期間中の米ドル・円の動向は米ドル高・円安となりました。

ワクチン接種の普及による世界的な経済活動再開に伴う米景気回復期待、米国の金融政策正常化に向けたプロセスが意識される中で米金利が上昇したこと、米債務上限をめぐる警戒感の後退等が、米ドルの上昇要因となりました。

▶ ポートフォリオについて（2020年11月13日から2021年11月12日まで）

期間中、4つのBDCを新規に組み入れた一方、2つのBDCを全売却しました。

3月、成長段階にある企業への投融資に重点を置いているトリニティ・キャピタルを新規に組み入れました。

5月、クレセント・キャピタルBDCを新規に組み入れましたが、流動性が予想よりも低く、株価が不安定だったため、有効なポジションを構築することは出来ないと判断し、6月に全売却

しました。

7月、優れた運用パフォーマンス等を評価したサラトガ・インベストメントを新規に組み入れた一方、SLRインベストメントを全売却しました。

10月、テクノロジー、ライフサイエンス、医療情報サービス、ビジネスサービス、その他の業界の成長企業にシニア（返済の優先順位が高いローン）有担保ローンを提供しているランウエイ・グロース・ファイナンスを新規に組み入れました。

▶ベンチマークとの差異について（2020年11月13日から2021年11月12日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

足元、過去の水準と比較してもBDCのバリュエーション（投資価値評価）は割安な水準で推移していることから、BDCには更なる上昇余地があるとみています。また、グローバルな経済活動の再開に伴う米景気回復期待や、米金利上昇に伴うBDCの収益改善期待等が引き続きBDC市場の支援材料となるとみています。

運用方針に変更はなく、引き続き独自のローン組成プラットフォームを有するBDCや、ニッチな分野において良質の案件を発掘する能力を有するBDC、主に担保付シニア案件に投融資するBDC等に焦点を当てて運用を行っていきます。

■ 1万口当たりの費用明細（2020年11月13日から2021年11月12日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料 (株 式)	31円 (31)	0.194% (0.194)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	4 (4) (0)	0.023 (0.022) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	34	0.218	

期中の平均基準価額は15,765円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2020年11月13日から2021年11月12日まで)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国		百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
	ア メ リ カ	2,382.13 (△ 19.32)	3,378 (-)	12,026.63	17,589

※金額は受渡し代金。

※()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年11月13日から2021年11月12日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	2,251,486千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	2,103,442千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	1.07

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2020年11月13日から2021年11月12日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2020年11月13日から2021年11月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

米国ハイ・インカムBDCマザーファンド

■ 組入れ資産の明細 (2021年11月12日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		期末		業種等
	株数	株数	評価額 外貨建金額	評価額 邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
ARES CAPITAL CORP	1,457.52	710.29	1,493	170,659	各種金融
HERCULES CAPITAL INC	1,736.58	850.6	1,481	169,289	各種金融
TRINITY CAPITAL INC	—	467.55	807	92,252	各種金融
RUNWAY GROWTH FINANCE CORP	—	276.76	333	38,070	各種金融
OAKTREE SPECIALTY LENDING CO	3,234.4	1,807.67	1,346	153,862	各種金融
BLACKROCK TCP CAPITAL CORP	1,132.07	603.66	855	97,796	各種金融
CAPITAL SOUTHWEST CORP	529.68	215.38	591	67,546	各種金融
FS KKR CAPITAL CORP	742.89	608.43	1,326	151,538	各種金融
FIDUS INVESTMENT CORP	711.4	438.59	793	90,647	各種金融
FS KKR CAPITAL CORP II	472.6	—	—	—	各種金融
GOLUB CAPITAL BDC INC	1,425.97	333.7	516	59,055	各種金融
MAIN STREET CAPITAL CORP	704.79	290.37	1,332	152,272	各種金融
NEW MOUNTAIN FINANCE CORP	1,432.06	573.33	796	90,983	各種金融
SARATOGA INVESTMENT CORP	—	174.91	506	57,852	各種金融
OWL ROCK CAPITAL CORP	1,052.87	640.76	929	106,149	各種金融
SIXTH STREET SPECIALTY LENDI	1,145.98	610.06	1,494	170,693	各種金融
SLR INVESTMENT CORP	825.05	—	—	—	各種金融
STELLUS CAPITAL INVESTMENT C	717.62	454.98	656	74,957	各種金融
WHITEHORSE FINANCE INC	587.75	399.65	619	70,773	各種金融
BARINGS BDC INC	2,027.22	815.94	935	106,924	各種金融
小計	株数・金額 19,936.45	10,272.63	16,816	1,921,325	
	銘柄数<比率> 17銘柄	18銘柄	—	<97.7%>	
合計	株数・金額 19,936.45	10,272.63	—	1,921,325	
	銘柄数<比率> 17銘柄	18銘柄	—	<97.7%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 投資信託財産の構成

(2021年11月12日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株	千円	%
株式	1,921,325	95.9
コール・ローン等、その他	81,210	4.1
投資信託財産総額	2,002,536	100.0

※期末における外貨建資産 (1,955,992千円) の投資信託財産総額 (2,002,536千円) に対する比率は97.7%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=114.25円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年11月12日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	2,002,536,052円
コール・ローン等	73,032,154
株式(評価額)	1,921,325,341
未 収 配 当 金	8,178,557
(B) 負 債	35,378,707
未 払 解 約 金	35,378,005
そ の 他 未 払 費 用	702
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	1,967,157,345
元 本	1,044,063,147
次 期 繰 越 損 益 金	923,094,198
(D) 受 益 権 総 口 数	1,044,063,147口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C / D)	18,841円

※当期における期首元本額2,263,348,744円、期中追加設定元本額41,563,130円、期中一部解約元本額1,260,848,727円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

米国ハイ・インカムBDCファンド(毎月決算型)	901,109,288円
米国ハイ・インカムBDCファンド(年1回決算型)	142,953,859円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

■ 損益の状況

(自2020年11月13日 至2021年11月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	197,832,410円
受 取 配 当 金	197,768,990
そ の 他 収 益 金	95,324
支 払 利 息	△ 31,904
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	822,970,275
売 買 益	838,822,178
売 買 損	△ 15,851,903
(C) そ の 他 費 用 等	△ 505,797
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	1,020,296,888
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	447,918,585
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 569,451,960
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	24,330,685
(H) 合 計(D + E + F + G)	923,094,198
次 期 繰 越 損 益 金(H)	923,094,198

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。